【資料-2】

ホール機能の規模について

① 市内類似施設の稼働状況（前回までのおさらい）

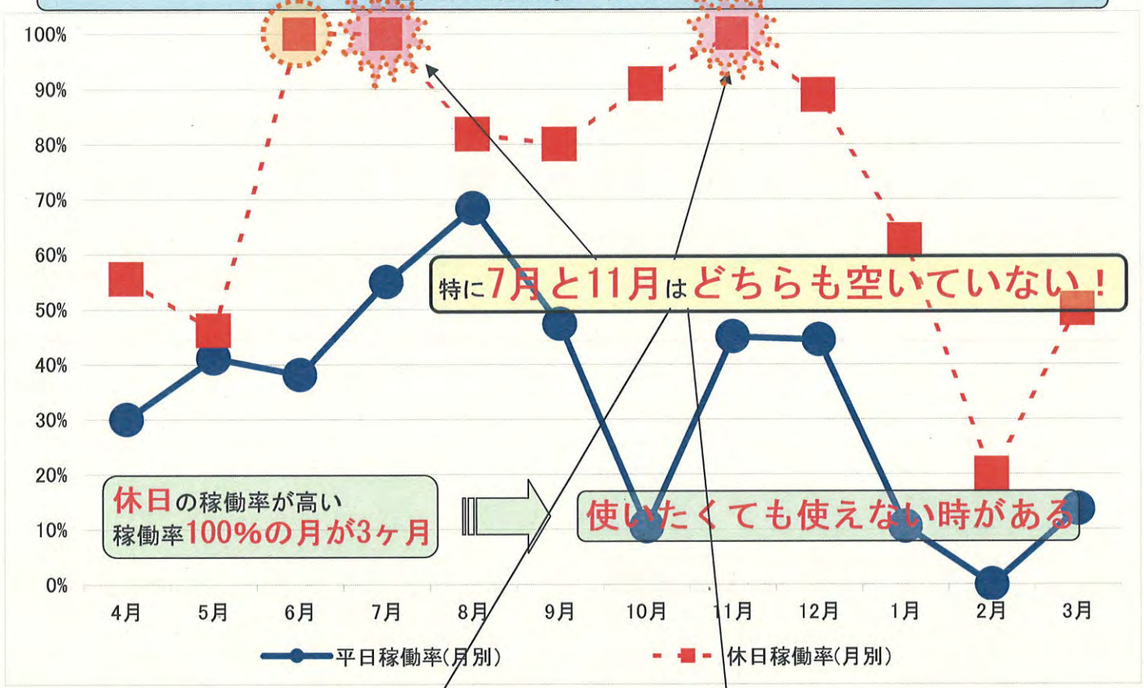
② 市内類似施設のホール席数と稼働率

③ 市内類似施設のホール席数とニーズ状況

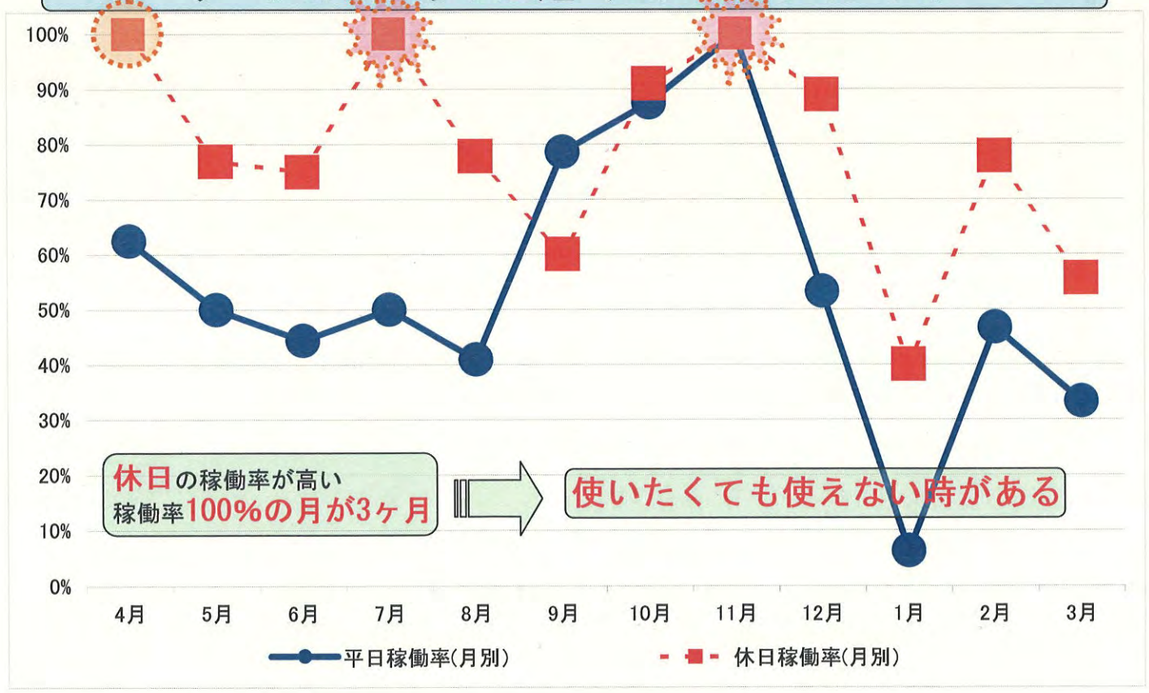
④ （参考）多目的ホール（500 席）のイメージ図

市内類似施設の稼働状況

上越文化会館（大ホール）

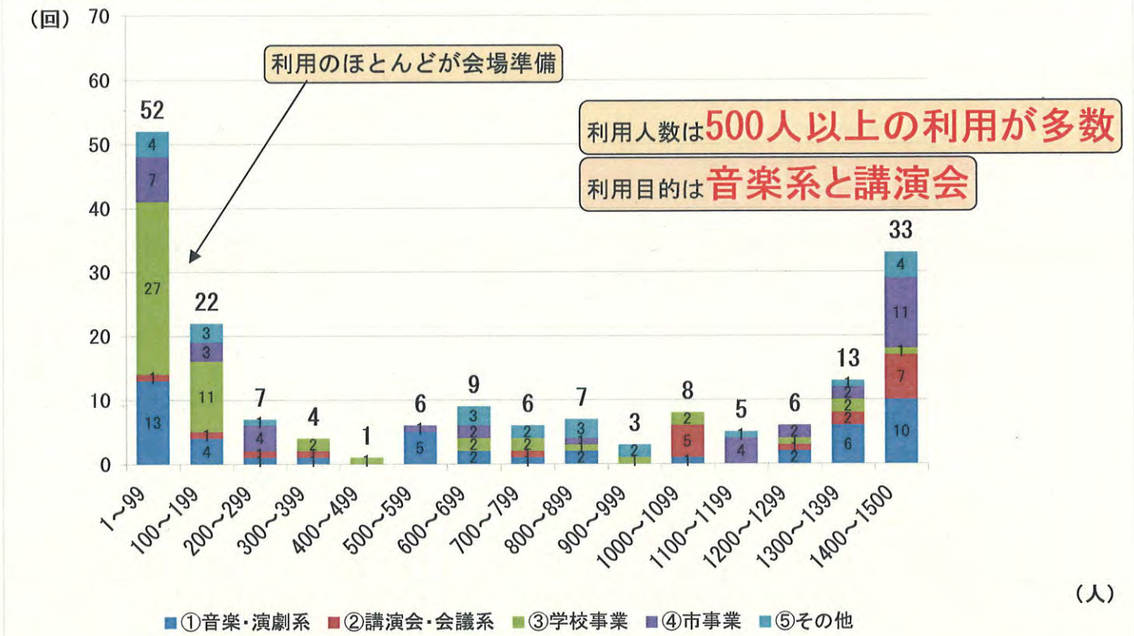


リージョンプラザ上越（コンサートホール）

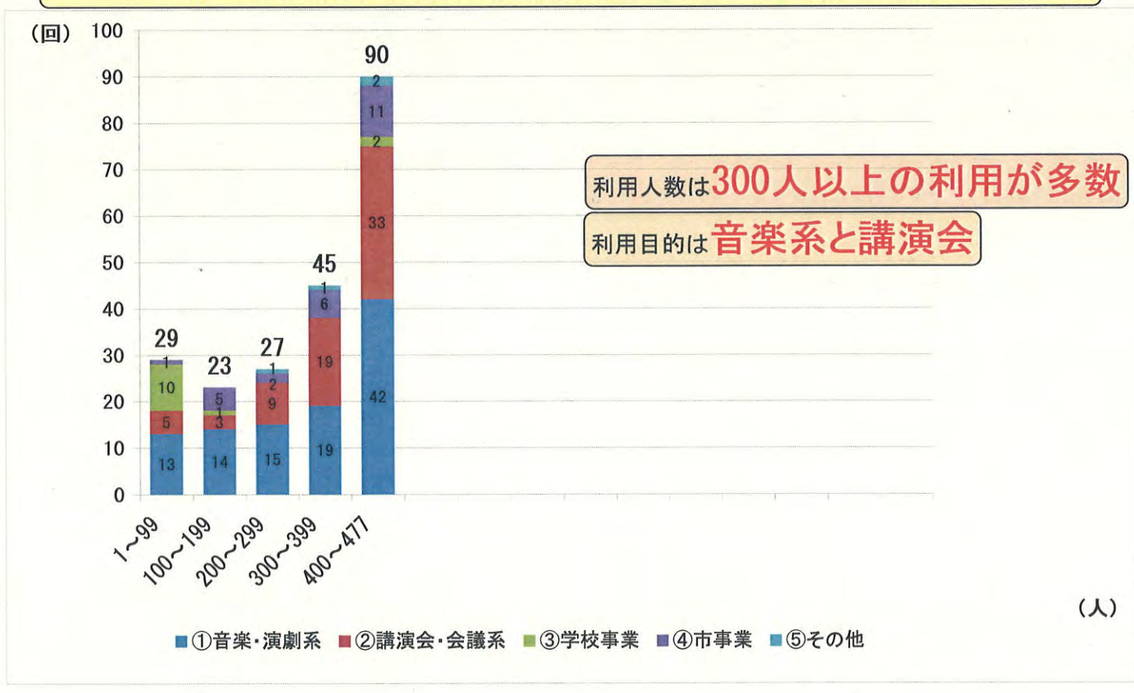


（前回までのおさらい）

上越文化会館（大ホール）



リージョンプラザ上越（コンサートホール）

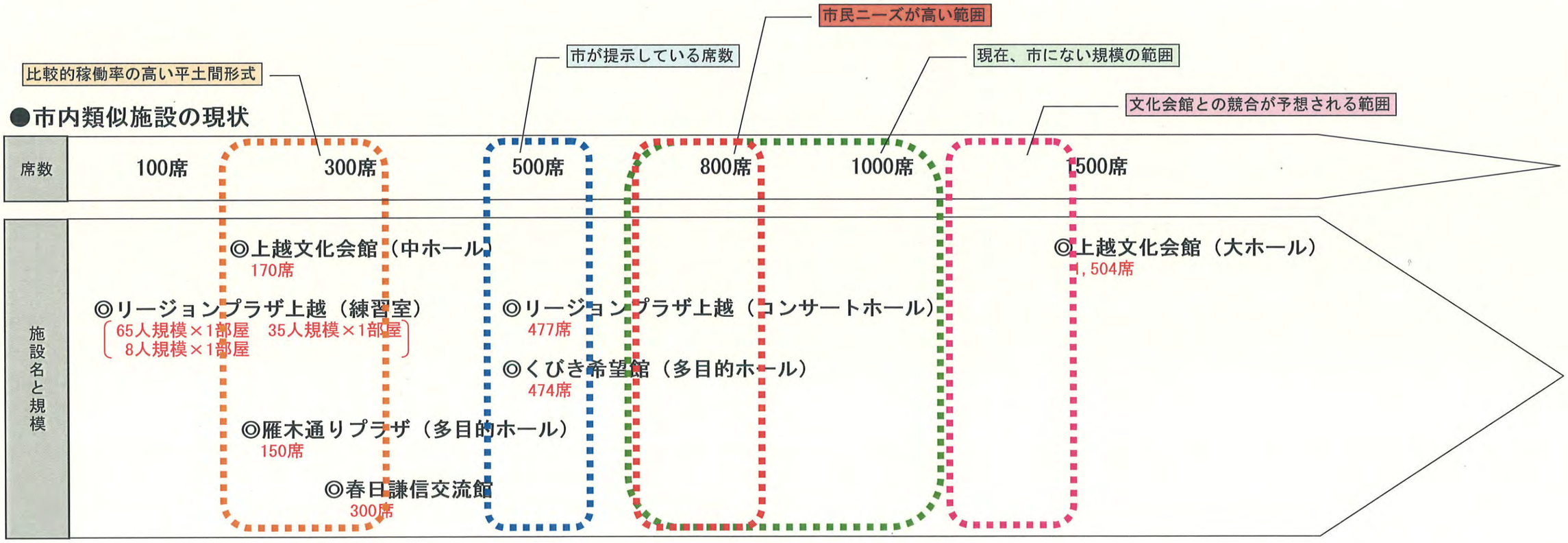


●市内類似施設のホール席数と稼働率

施　設　名	座席数	座席形態			ホール形態		稼働率		備　考
		固定式	可動式	椅子式	音楽系	多目的	平日	休日	
上越文化会館（大ホール）	1,504	○			○		37.2%	87.2%	
リージョンプラザ上越（コンサートホール）	477	○			○		52.3%	78.6%	
くびき希望館	474		○			○	18.4%	11.5%	
雁木通りプラザ	150			○		○	92.6%	66.4%	
春日謙信交流館	300			○		○	94.2%	95.7%	

施　設　名	座席数	座席形態			ホール形態		稼働率		備　考
		固定式	可動式	椅子式	音楽系	多目的	平日	休日	
上越文化会館（中ホール）	170			○	○		58.9%	37.9%	
リージョンプラザ上越（練習室）	65			○	○		97.6%	96.6%	65人規模算出

●市内類似施設の現状



●市内類似施設のホール席数とニーズ状況

●市内類似施設の現状

100人～300人以下

100人～300人以下の小規模な平土間形式の利用が多い
音楽系の利用も多い。
雁木通りプラザや春日謙信交流館では、稼働率が高く、100%超えの月もある。

500席以下程度

リージョンプラザの稼働状況が高く、100%を超える月がある。
データからは、リージョンプラザとくびき希望館の競合が見られない。

700人～1000人以下

上越文化会館で700人から800人程度の利用はあるが、稼働率は低い。
市民ニーズは非常に高い。

市内には、700席から1000席以下のホールがない。

●想定される規模等

100席～300席以下は想定しない

300席以下のホールを単独で作ることは想定しない。
100人規模程度の練習室を作ることで、雁木通りプラザや春日謙信交流館の不足分をカバーできる。

500席

500席規模を作ることで、リージョンプラザの利用に余裕が生まれる。
新ホールは平土間式の利用も可能なので、リージョンプラザとの競合は発生しないと予想される。
500席規模のホールと100席規模の練習室を作ることで、リージョンプラザの運営と、雁木通りプラザ、春日謙信交流館の不足分もカバーできる。
平土間としたときには、ダンスや小規模な展示会も可能と予想される。

800席

700席から800席規模を作ることで、上越文化会館の利用に余裕が生まれる。
平土間としたときには、ダンスや小規模な展示会も可能と予想される。

（参考）多目的ホール（500席）のイメージ図

36.0m

12.0m | 24.0m

18.0m

舞台
【18.0m×12.0m≒200m2】

◎オーケストラ人数と面積

オーケストラ人数は曲目・編成によって異なるが、概ね70人程度で、**面積は150～200m2程度**は必要。**合唱を含むと、プラス100m2程度**は必要。

参考著書
建築設計資料集成

客席
【18.0m×24.0m≒430m2】

平土間の面積はどの位？

◎社交ダンス会場として利用する場合

公認大会に使用するフロアの厳密な面積（縦横寸法）の定めはない。

競技者一組当たりの使用面積を25m2以上とするのが一般的で、地方予選会等は事故防止の観点から大会本部が定めており、最大でも一度に競技する組数を10～12組に抑えている。

従って**想定されるフロア一面積は、25m2×12組=400m2程度**が必要と想定される。

その他に大会の種類によっては、観客席と審査員席を設けるのが一般的である。

（財）日本ルームダンス連盟よりヒアリング

（注）このイメージ図は詳細設計をしていません。

【資料-3】

公民館機能の内容と規模について

公民館について

公民館活動とは？

基　本　方　針

上越市第５次総合計画並びに上越市総合教育プランに基づき、公民館は、市民に身近な社会教育の拠点施設として、地域課題や市民ニーズに即した学習機会を提供し、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努めます。

運　営　方　針

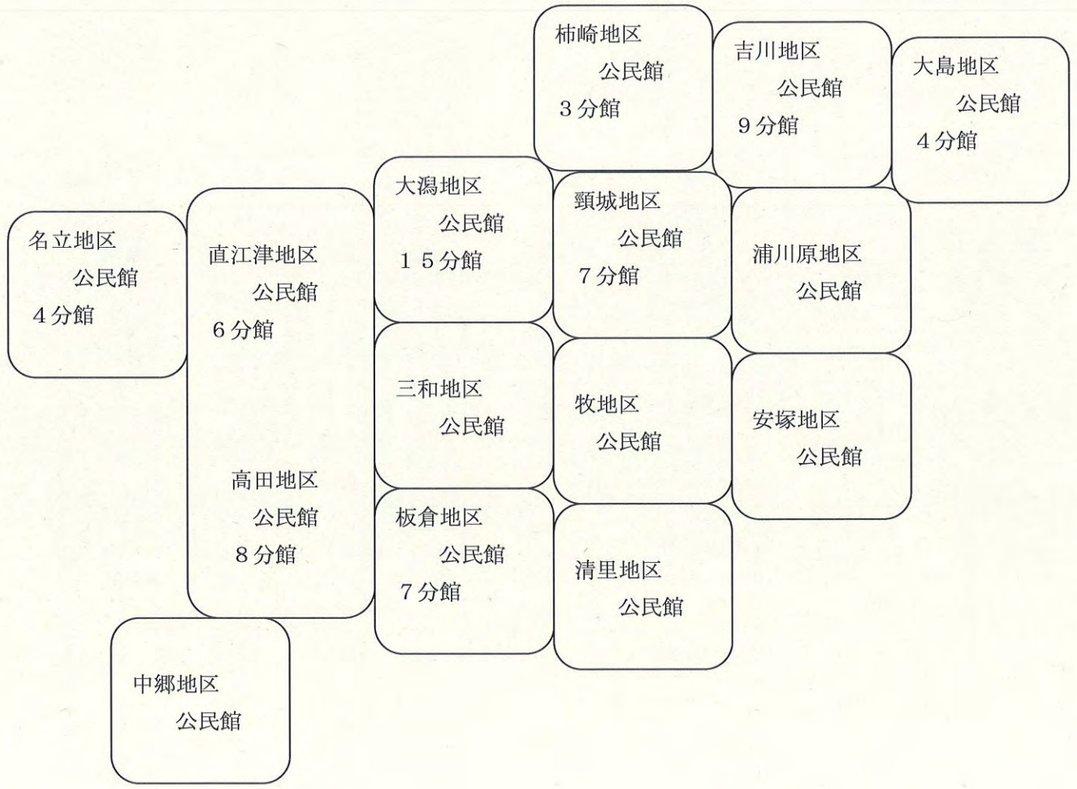
・市民の一人ひとりが楽しく生きがいのある充実した人生を送れるよう、公民館サポーターや公民館協力員と連携し、公民館機能の充実を図り、市民の生涯にわたる学びを支援します。

・市民が気軽に集まれる場所、各種団体、サークルの身近な活動拠点として、様々な世代のつどいの場としての環境づくりに努めます。

・地域の各種団体や学校と連携し、人と人のつながりの輪をむすび、それぞれの地域の特色を生かした事業運営に努めます。

上越市の公民館の現状

高田地区公民館、直江津地区公民館のほか、各区へ地区公民館を配置している。
全体で１５地区公民館があり、その他６３の分館を配置している。



＜参考＞平成 22 年度　公民館管理運営費　1 億 4,439 万円
利用件数　23,936 件
利用者数　371,041 人
ただし、総合事務所や他の生涯学習施設等に併設の公民館は除外

高田地区公民館の位置づけ

現在、

○ 高田地区公民館と同時に、上越市立公民館として位置づけられている。

○ 公民館長以下、職員 4 名体制（※直江津地区公民館は 3 名体制）公民館全体を管理・統括する役割

○ 高田地区の中心的生涯学習施設として年間約 4 万人の市民が利用している。

高田地区公民館の課題と今後の方向性

現在の課題は、

○ 耐震補強が必要

○ エレベーター、オープンスペースがない。

○ 駐車場スペースが狭い

○ 老朽化による大規模修繕が必要

今後の方向性は、

○ 前述の課題を踏まえ、（仮称）厚生産業会館へ公民館機能を合築することにより必要な機能と部屋数を設置する。

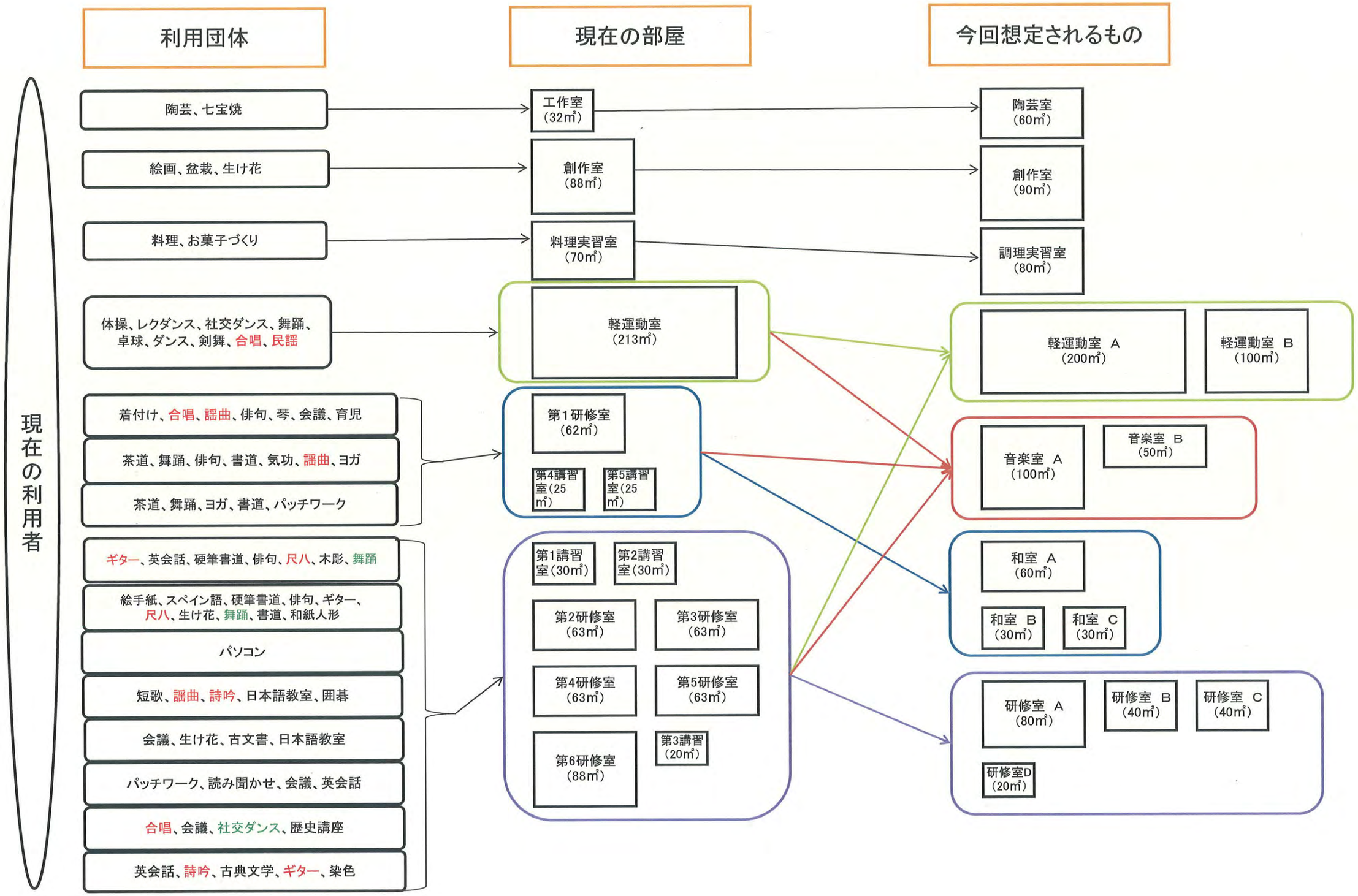
○ 現在の高田地区公民館を廃し、その機能を（仮称）厚生産業会館へ移転する。

現在の利用団体 （数字は平成23年6月に利用した団体数）

ジャンル	目 的
音楽系 27	合唱 8　謡曲 7　楽器 4　民謡 3　詩吟 3　尺八 1　琴 1
踊り・ダンス系 11	舞踊 5　レクダンス2　ダンス 1　剣舞 1　社交ダンス 2
軽運動系 10	体操 4　卓球 3　ヨガ 2　気功 1
創作・工作系 22	絵画 6　書道 2　パッチワーク2　和紙人形 1　木彫 1　盆栽 1　七宝焼 1　陶芸 1 硬筆書道 1　茶道 1　絵手紙 1　染色 1　生け花 1　ハーブ 1　フラワーアレンジ1
料理系 3	料理 3
会議・講座系 38	俳句 4　育児 3　パソコン 3　英会話 3　短歌 2　歴史講座 1　古典文学 1　会議 14 日本語教室1　スペイン語 1　着付け 1　読み聞かせ1　囲碁 1　絵本研究 1　古文書 1

111団体

必要な機能と部屋数


利用団体
現在の部屋
今回想定されるもの
現在の利用者
陶芸、七宝焼
絵画、盆栽、生け花
料理、お菓子づくり
体操、レクダンス、社交ダンス、舞踊、卓球、ダンス、剣舞、合唱、民謡
着付け、合唱、謡曲、俳句、琴、会議、育児
茶道、舞踊、俳句、書道、気功、謡曲、ヨガ
茶道、舞踊、ヨガ、書道、パッチワーク
ギター、英会話、硬筆書道、俳句、尺八、木彫、舞踊
絵手紙、スペイン語、硬筆書道、俳句、ギター、尺八、生け花、舞踊、書道、和紙人形
パソコン
短歌、謡曲、詩吟、日本語教室、囲碁
会議、生け花、古文書、日本語教室
パッチワーク、読み聞かせ、会議、英会話
合唱、会議、社交ダンス、歴史講座
英会話、詩吟、古典文学、ギター、染色
工作室（32㎡）
創作室（88㎡）
料理実習室（70㎡）
軽運動室（213㎡）
第1研修室（62㎡）
第4講習室（25㎡）
第5講習室（25㎡）
第1講習室（30㎡）
第2講習室（30㎡）
第2研修室（63㎡）
第3研修室（63㎡）
第4研修室（63㎡）
第5研修室（63㎡）
第6研修室（88㎡）
第3講習（20㎡）
陶芸室（60㎡）
創作室（90㎡）
調理実習室（80㎡）
軽運動室 A（200㎡）
軽運動室 B（100㎡）
音楽室 A（100㎡）
音楽室 B（50㎡）
和室 A（60㎡）
和室 B（30㎡）
和室 C（30㎡）
研修室 A（80㎡）
研修室 B（40㎡）
研修室 C（40㎡）
研修室D（20㎡）

高田地区公民館周辺の市貸館施設

高田駅前コミュニティルーム

高田駅前
コミュニティルーム
（113.77㎡）

本町5丁目公益施設（仮）

ギャラリーA
（100㎡）
多目的室1
（64㎡）
ギャラリーB
（100㎡）
多目的室2
（60㎡）
ギャラリーC
（100㎡）

高田小町

ギャラリー1
（40㎡）
和室（8畳）
多目的ホール
（69.6㎡）
和室
（15畳）
ギャラリー2
（20㎡）

雁木通りプラザ

和室
（48畳）
多目的ホール
（159.02㎡）
（6畳）

福祉交流プラザ

第1会議室
（79㎡）
第6会議室
（79㎡）
体育館
（562㎡）
第2会議室
（40㎡）
第7会議室
（60㎡）
第3会議室
（40㎡）
調理実習室
（80㎡）
第4会議室
（40㎡）
第5会議室
（40㎡）

本町ふれあい館

ギャラリー

高田地区公民館

公民館に必要なその他機能

高田地区公民館 女性サポートセンター	15部屋		ロビー		託児室		受付 事務室		物置
	935㎡	＋	110㎡	＋	32㎡	＋	60㎡	＋	約60㎡

(仮称)厚生産業会館	14部屋		談話スペース		託児室		受付 事務室		資料室
	980㎡	＋	150㎡	＋	30㎡	＋	60㎡	＋	60㎡

(談話スペース)・・・テーブル、イス(ベンチ)、サークル活動用のコピー機、印刷機、パンフレット、イベント情報コーナー、作品展示コーナー(ピクチャーレール等)、図書コーナー、(飲食可能とし、施設利用者や、近隣住民、学生が自由に休憩、歓談できるものとする。)
(受付・事務室)・・・受付カウンター、執務・ミーティングスペース、更衣室及び休憩スペース

※　廊下、トイレ、階段、湯沸室、公用車車庫等を除く

利用者の声

項　目	内　容
陶芸室	・灯油窯ではなく電気窯、電動ろくろ、楽焼の窯 ・作品（粘土）を乾かす作品棚、溶液棚、頑丈な作業台 ・水道、汚水を流せる場所 ・床はコンクリート ・七宝焼窯
創作室	・土いじりをするので、外から出入りできる部屋
調理実習室	・水道設備の使い勝手 ・調理器具に不足のないように ・調理室で食べれること ・ロッカー
軽運動室	・小規模な発表会等を開けるホール、舞台（15m×8m）座席300席くらい ・鏡の設置（使用しない時は閉じている）市民プラザABC ・小さめの軽運動場もほしい。 ・春日謙信交流館のように区切れる部屋、アコーディオンカーテンでは音が聞こえる。 ・春日謙信交流館の集会室1・2・3のように広さを調整できる部屋
音楽室	・軽運動場が取れない場合、防音設備のある部屋
和室	・防音設備（襖だけではまる聞こえ） ・現在の15畳 ・すわり机、障子は子どもが破るのでない方がいい。
研修室	・現在の高田地区公民館第3研修室程度の広さ ・女性サポート第3講習室のような小さめの部屋 ・アコーディオンカーテンの仕切りはやめてほしい。
バリアフリー	・エレベーター又はエスカレーターの設置（高齢のため） ・エレベーターの設置（材料等の手荷物が多い、高齢者のため） ・エレベーターの設置 ・障害者への配慮（視覚障害者へボタンの位置） ・階段のこう配等 ・トイレにおむつ交換台 ・トイレは洋式で広く ・トイレは広く ・段差を少なく、バリアフリー ・スリッパではなく土足
ホール	・ホール脇に控室2部屋 ・200名くらいの体操のできるホール ・希望館のようにステージと客席を分けて予約できるようにしてほしい。（練習時は客席不要）
駐車場	・駐車スペース ・駐車スペース ・駐車場スペース ・駐車場は広い方がよい ・駐車場は雪置き場を考えて広く ・駐車場の出入口の幅は広く ・駐車場までの道幅が狭い ・駐車場の広さ ・駐車場を広く
場所	・交通の便（バス、電車）がよいところに建てるべき。 ・場所は現在の場所（大手町） ・市内のまちなか、今の場所がよい。遠方だと使えなくなる ・バス等で来る人のことを考えてほしい。 ・高田地区の市民が歩いていける場所
飲食機能	・喫茶ルーム（自販機ではない） ・喫茶ルーム
談話スペース	・談話室 ・ロビーは明るく
託児機能	・おもちゃのあるスペース（廊下に出ず）
備品	・手荷物を置けるロッカー ・月極めのロッカー（会の備品を置く。雪の中の持参は・・・） ・ロッカーは必要 ・大型モニター書画カメラ、BD、DVD、CDプレーヤー、PC講座用のPC整備（モニター22型程度） ・各部屋にコート掛け ・ピアノの向き、事前連絡等で移動できるようにしてほしい。 ・卓球台4台
全体	・大きな施設は必要ない。 ・鏡付きの多目的室、駐車場、給湯室、調理室、和室 ・春日謙信交流館は窓が大きく多い明るくて良い。 ・1階に貸し部屋があるとよい。 ・今より不便になるのはやめてほしい。 ・高田作品展ができるスペース